

教育委員会評価

まちづくり基本計画			構成する事務事業	点検・評価
施策名称	施策の展開方向	施策の展開方向に基づく取組み		
<p>市民の主体的な学習や活動を支援するとともに、学習の成果を地域社会にいかすことのできる人づくり・しくみづくりを進める</p>		<p>・多様な学習機会の提供と情報発信による市民参加の促進、関係機関との連携による社会教育施設の有効活用等に取り組む</p> <p>・市民・ボランティアとの協働と学習グループ等の活動支援に取り組む</p> <p>・学習の成果を発表する機会やボランティア活動ができる機会の充実、学習の成果を地域づくりにいかせるようしくみづくりに取り組む</p> <p>・学習と交流を通じたリーダーの発掘・ボランティアの養成等を通じ、市民主体の活動を支える人材育成等に取り組む</p>	<p>視聴覚センター事業費</p> <p>生涯学習推進事業費(社会教育総務費)</p> <p>成人教育事業費</p> <p>PTA連合会等補助金</p> <p>阪神南地区社会教育委員協議会等負担金</p> <p>家庭・地域教育推進事業費</p> <p>生涯学習推進事業費(公民館費)</p> <p>学習情報・相談事業費</p> <p>図書館行事事業費</p> <p>図書等購入事業費</p> <p>図書館サービス網関係事業費</p> <p>資料整理事業費</p> <p>北図書館指定管理者管理運営事業費</p> <p>日本図書館協会等負担金</p> <p>施設維持管理事業費(公民館費)</p> <p>施設維持管理事業費(図書館費)</p> <p>施設整備事業費(公民館費)</p> <p>施設整備事業費(図書館費)</p>	<p>市民の生涯にわたる多様な学習ニーズや主体的な活動に対応するため、社会教育施設をはじめとする生涯学習施設の連携のもと、市民の幅広い学習を支援する生涯学習推進事業に取り組んだ。各行政地区において、各地域の特性に合わせて実施されている生涯学習フェアについては、毎年より充実した内容で実施できるよう、そのあり方について生涯学習部会にて検討を続けている。今後更に必要性の高まる学社連携の推進のため、学校運営を支援するボランティアの育成に取り組み、地域住民が学びの大切さを再認識し、学びを継続できる学習の機会を提供していく。</p> <p>公民館においては多様な事業展開により、課題解決に向けて市民が自ら考える機会の提供やボランティアの養成、行政と市民の協働による学習等の推進を図るとともに、平成25年度からの分館の地域移管に向け、自主的運営体制構築のための支援に取り組んだ。</p> <p>また、図書館の利用を促進するため、図書館行事事業において、主に子どもたちやその保護者に対し、読み聞かせ等の講座・行事を実施した結果、年間で7千人を超える参加者を集めることができたほか、図書館と公民館等を結び図書館情報オンラインシステムにより、市内での自由な図書の貸出し・返却及びインターネットを利用した蔵書検索等を可能にするなど図書サービスの向上に寄与した。</p> <p>なお、平成23年度より導入した北図書館の指定管理者制度は、利用者から好評を得ており、今後とも民間活力を活かした魅力ある図書館運営に取り組んでいく。</p>
			<p>健康の保持・増進を図るため、気軽に運動やスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む</p>	<p>・個々の生活リズムに合わせて気軽にスポーツやレクリエーションに参加できる環境づくりや、情報提供等に取り組む</p>
<p>生涯学習やスポーツ活動を通じて、生きがいづくりや地域での交流を促進する</p>	<p>・歴史や文化等の地域資源を活用した学習の拡充に取り組む</p> <p>・誰もが生涯にわたって自由に学び、それぞれが関わり合いを持ちながら、互いに高めあうことができるしくみづくりに取り組む</p>	<p>生涯学習推進事業費(社会教育総務費)(再掲)</p> <p>家庭・地域教育推進事業費(再掲)</p> <p>市民参加・交流・連携推進事業費</p> <p>生涯学習推進事業費(公民館費)(再掲)</p> <p>障害者等サービス事業費</p> <p>学校開放事業費(再掲)</p>	<p>心の豊かさや生きがいづくりを求める意識が高まる中、市民の学習やスポーツ活動に対するニーズは多様化・高度化しており、公民館での市民参加・交流・連携推進事業や家庭・地域教育推進事業をはじめ、図書館で実施している障害者等サービス事業、また、学校開放事業などを通して、市民の生きがいづくりや交流の促進に寄与した。</p>	
<p>施策03【学校教育】教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち</p>	<p>確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりの実現を目指し、学校教育を充実する</p>	<p>・家庭との連携による家庭学習の習慣化、子どもの自覚性や能力を引き出す教職員の指導力向上、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育等に取り組む</p> <p>・子どもが地域社会の一員としての役割を果たすために必要な知識や価値観を身につける取組の充実、家庭・地域、企業、団体等との連携による勤労観・職業観を育む学習活動の展開、地域資源を活用した学習活動の充実、正しい防災知識を身につけるための防災教育の充実に取り組む</p>	<p>・幼児教育の充実</p> <p>市立幼稚園教育振興事業費</p> <p>学校・園研究業務委託事業費</p> <p>私立幼稚園教育振興助成金</p> <p>私立幼稚園就園奨励補助金</p> <p>教材費(幼稚園費)</p> <p>すこやか子育て支援事業費</p> <p>施設維持管理事業費(幼稚園費)</p> <p>園長会等負担金</p>	<p>「生きる力」の基礎や健全な生活を営むために必要な態度を養うため、幼児一人ひとりの発達に応じ、遊びや体験を通じた幼児教育を展開するとともに、学校・園研究業務委託事業の実施による教員の資質向上に向けた取組の充実や、すこやか子育て支援事業の実施を通して、子育て支援並びに地域に開かれた幼稚園づくりの推進に寄与することができた。また、子どもたちが安全・安心に幼稚園の生活を送ることができるよう施設の適正な管理に努めたほか、私立幼稚園就園奨励補助金や私立幼稚園教育振興助成金などの交付により、幼児の教育機会の充実を図ることができた。</p> <p>なお、市立幼稚園の教育内容の充実とともに、効果・効率的な運営体制を構築するために「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」を策定・公表した。このプログラムをより効果的に実施するため、保護者等との意見交換や、園長・教頭との具体的な取組み内容についての検討を重ねた。</p>

まちづくり基本計画			構成する事務事業	点検・評価		
施策名称	施策の展開方向	施策の展開方向に基づく取組み				
施策03【学校教育】教育の充実で子どもを生きる力をはぐむまち	確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりの実現を目指し、学校教育を充実する	・家庭との連携による家庭学習の習慣化、子どもの自発性や能力を引き出す教職員の指導力向上、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育等に取り組む	・小・中学校教育の充実 児童生徒文化充実支援事業費 学習習慣支援事業費 多文化共生支援員派遣事業費 小学校体験活動事業費 課外クラブ関係事業費 トライやる・ウィーク推進事業費 学力・生活実態調査事業費 学力向上クリエイト事業費 計算力向上事業費 尼崎市学習到達度調査事業費 特色ある教育推進事業費 社会力育成モデル事業費 学校情報通信ネットワークシステム関係事業費 要保護・準要保護児童生徒就学援助費等扶助費 準要保護児童給食費等扶助費 小学校給食関係事業費 給食調理業務委託関係事業費 給食用備品購入等事業費 中学校弁当推進事業費 学校図書館運営事業費 教材費(小学校管理費) 教材費(中学校管理費) 情報教育推進事業費(小学校管理費) 情報教育推進事業費(中学校管理費) 施設維持管理事業費(小学校管理費) 施設維持管理事業費(中学校管理費) 校長会等負担金(小学校管理費) 校長会等負担金(中学校管理費)	各学校が自らの課題を分析し、策定した学力向上計画に基づき、教育委員会が必要な支援を行う学力向上クリエイト事業や、教育委員会が中心となり教科研究会と協力して自主作成する調査問題を用いて、学習指導要領の目標に照らした学習の到達状況を把握する尼崎市学習到達度調査を実施したこと等により、学校現場の主体的な取組を促進し、本市における最優先課題と位置づける学力向上の課題に向けた改革改善を推進した。平成24年度の学力・生活実態調査では、平均正答率において、小・中学校ともほぼ全国レベルに近づいており、学年・教科によっては全国レベルを上回るものもあったが、思考力・判断力・表現力といった「活用する力」に課題が見られることを踏まえ、今後は「発展・応用的な問題に対応できる力」の育成に努め、学力の全体的なレベルアップを目指していく必要がある。また、ICTを活用した情報教育の推進や学校情報通信ネットワークシステムの活用による校務の効率化・情報化等により、教育の質の向上に寄与することができた。 さらに、小学校体験活動事業やトライやる・ウィーク推進事業の実施により、児童・生徒は学校・学級では体験できない活動を通じて、学友の良さや家族の大切さに改めて気づくなど、豊かな人間関係を築く機会となっている。活動の中で直面する様々な課題に対して、学友等とともに乗り越える経験を通して達成感を味わい、主体的に判断・行動する力を身に付け、思いやりの心、自律する心など、「生きる力」の育成につながったほか、社会力育成モデル事業における研究指定校での学級活動の充実、生徒会活動の充実、地域参画学習の実施等を通して、中学生が主体的に地域や社会に参画し行動する力を身につける一助となった。 また、小学校給食においては、新たに2校の給食室整備を行い、調理業務を民間事業者へ委託することで、給食内容の充実を図ることができたとともに、給食を生きた教材として、食育を推進することができた。 中学校においては、家庭からの弁当を持参できない日に、菓子パン等で昼食を済ませている生徒に、食育および子育て支援の観点から、ごはんを主食とし、栄養価があつてバランスの取れた弁当を提供する中学校弁当推進事業を実施したところであるが、実施校の拡大と併せ、引き続き事業の定着を図るよう努めていく。		
			・子どもが地域社会の一員としての役割を果たすために必要な知識や価値観を身につける取組の充実、家庭・地域、企業、団体等との連携による勤労観・職業観を育む学習活動の展開、地域資源を活用した学習活動の充実、正しい防災知識を身につけるための防災教育の充実に取り組む		・高等学校教育の充実 課外クラブ関係事業費(再掲) 尼崎高等学校運動クラブ競技力向上事業費 尼崎高等学校体育科野外活動等事業費 キャリア教育推進事業費 市立全日制高等学校教育活性化推進事業費 学校情報通信ネットワークシステム関係事業費(再掲) 修学援助金交付金 尼崎高等学校第2グラウンド送迎バス委託等事業費 市立定時制高等学校教育の推進事業費 定時制高等学校等給食事業費 教材費(全日制高等学校管理費) 教材費(定時制高等学校管理費) 情報教育推進事業費(全日制高等学校管理費) 情報教育推進事業費(定時制高等学校管理費) 施設維持管理事業費(全日制高等学校管理費) 施設維持管理事業費(定時制高等学校管理費) 校長会等負担金(全日制高等学校管理費) 校長会等負担金(定時制高等学校管理費)	全日制高等学校においては、特色づくりと活性化を目的とした事業を通して、生徒の個性を活かした「生きる力」を育むとともに、魅力ある学校づくりを推進した。定時制高等学校については、生徒の希望する進路の実現に向け、基礎学力の定着を目指す取組を進めた。また、定時制高等学校の再編に伴い、再編場所となる城内高等学校校舎の耐震補強・改修工事及び増築工事等を実施した。 意欲のない高校生の増加が問題となっている中、キャリア教育推進事業の実施により、なりたい自分としっかり向き合う機会を提供することで、生徒達が自己の進路を主体的に選択することができた。また、課外クラブ関連事業の実施を通じて、クラブ活動の円滑な運営と活性化を図ることができた。

まちづくり基本計画			構成する事務事業	点検・評価	
施策名称	施策の展開方向	施策の展開方向に基づく取組み			
<p>確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりの実現を目指し、学校教育を充実する</p> <p>施策03【学校教育】教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち</p>		<p>・家庭との連携による家庭学習の習慣化、子どもの自発性や能力を引き出す教職員の指導力向上、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育等に取り組む</p> <p>・子どもが地域社会の一員としての役割を果たすために必要な知識や価値観を身につける取組の充実、家庭・地域、企業、団体等との連携による勤労観・職業観を育む学習活動の展開、地域資源を活用した学習活動の充実、正しい防災知識を身につけるための防災教育の充実に取り組む</p>	<p>特別支援教育推進事業費</p> <p>教材費(小学校管理費)(再掲)</p> <p>教材費(中学校管理費)(再掲)</p> <p>教材費(幼稚園費)(再掲)</p> <p>教材費(特別支援学校費)</p> <p>情報教育推進事業費(特別支援学校費)</p> <p>スクールバス運転業務委託等事業費</p> <p>施設維持管理事業費(特別支援学校費)</p> <p>校長会等負担金(特別支援学校費)</p>	<p>特別な支援が必要な子どもに対して、適切な教育を行うことができるよう、引き継ぎ、教材・教具の充実や施設の適正な管理、関係機関と連携した支援体制の構築に努めた。</p> <p>特別支援教育推進事業では、障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握しながら、その持てる力を高め、自立や社会参加に向け主体的に取り組めるようにすることを目指し、自立活動についての研修や巡回相談等の実施を通じて、より適切な指導や教育的支援を展開することができたとともに、校外での体験活動や宿泊訓練において看護師を配置することで、児童・生徒が精神的に安定した状態で参加することができ、主体的に活動する力や日常生活及び障害状態の改善に必要な基本的な知識、習慣等を培うことができた。</p> <p>また、尼崎養護学校在籍児童・生徒の学校生活の充実と教育効果の向上を図るため、安全、快適かつ効率的な送迎及び看護師の配置が必要不可欠であることから、スクールバス運転業務委託等事業では、委託業者と学校との連携を密にしながら、児童・生徒の健康状態を把握し、適切かつ配慮ある対応をすることにより、児童・生徒が精神的にも安定した状態で学校生活を送ることに貢献した。</p>	
			<p>指導力向上等事業費</p> <p>教科研究会等負担金</p> <p>教職員研修事業費</p> <p>教職員法定研修事業費</p> <p>調査研究・教材開発事業費</p>	<p>本市の教育水準の向上を図る立場から、教職員の資質・力量を高めるため、基本研修や専門研修等を実施するとともに、教職員のニーズや経験に応じた法定研修の実施により、尼崎を愛する教員の育成に努めた。また、今後増加する若手教員の資質・指導力向上を目的とした研修の実施や、ミドルリーダー養成のための研修プログラムの改善、各教科研究会との連携による小中連携の研究などの取組を通じて、学校の教育力の充実に寄与した。</p> <p>高等学校においては、指導力向上事業により平成27年度からの新学習指導要領全面実施に向けた教育課程の研修や研究が実施され、研修・研究に裏づけされた形で教員の指導力向上が図ることができた。</p>	
			<p>施設整備事業費(教育総合センター費)</p> <p>施設維持管理事業費(教育総合センター費)</p> <p>全国教育研究所連盟等負担金</p>	<p>地域と家庭の教育力が低下している現代社会において、教育に関する最新の情報を収集し、教育関係者や市民に広く発信することにより、本市の教育行政の発展に寄与したほか、教育総合センターの施設設備の適正な管理を通じて、利用者の安全・安心、快適な施設利用につながった。</p>	
			<p>・心の尊さを理解し、思いやりの心をはぐくむ道徳教育・体験的学習の充実に取り組む</p>	<p>こころの教育推進事業費</p>	<p>いじめや指導不服従等の解消に向け、児童・生徒の豊かな人間性や社会性、規範意識の育成が求められている中、市内全中学校で「生命を尊重する心」と「規範意識」の育成を目的とした講演会を実施したことにより、生徒が法やきまりの意義を理解し、生きることの意味や命の大切さを考える機会につながった。</p>
			<p>・人権意識や規範意識をはぐくむとともに、家庭・地域との連携促進及び関係機関・専門家との協働体制の強化により、子どもや保護者が気軽に相談できる体制の整備と、いじめや不登校等の未然防止に取り組む</p>	<p>心の教育相談事業費</p> <p>不登校対策事業費</p> <p>心の教育ボランティア配置事業費</p>	<p>本市の小・中学校における不登校出現率は、特に中学校において高く、小学校も増加傾向にある。こうした状況において、学校に行きたくても行けない子どもたちを支援するため、訪問指導員や生活指導員、ハートフルフレンドの配置や適応指導教室を設置し、それらの活動を通して学校復帰につながった子どもが8割を超えるなどの成果が上がった。また、子どもだけでなく保護者や教職員の悩みにも対応するため、心の教育相談事業ではカウンセラーを配置し、身近で気軽に相談できる環境づくりを進めるとともに、子ども・家庭・学校への教育相談・支援体制の充実に取り組んだ。</p>
			<p>・学校体育の充実や食育の推進等により、子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、基本的な食生活・生活習慣が身に付くよう取り組む</p>	<p>尼崎高等学校運動クラブ競技力向上事業費(再掲)</p> <p>学校保健関係事業費</p> <p>児童生徒幼児健康診断事業費</p> <p>食育フェア開催事業費</p> <p>学校体育関係事業費</p>	<p>子どもの体力低下が指摘されている中、学校体育関係事業の実施により、本市の小・中・高等学校の児童・生徒の体力の向上と教員の指導力を高めるなど、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>また、学校給食を食に関する生きた教材として活用することにより、心身の健康についての関心や食を中心とした健康づくりへの実践力を高めることに寄与するとともに、子どもたちの健康の保持、増進を図るため、各種健康診断の充実や学校保健会との連携推進に取り組み、疾病の早期発見・治療につながることができた。</p>
			<p>・地域で遊び、運動できる環境づくりを支援する</p>	<p>学校施設玄関スロープ等整備事業費(小学校建設費)</p> <p>学校施設玄関スロープ等整備事業費(中学校建設費)</p> <p>特別支援学級教室整備事業費</p> <p>給食室整備事業費(小学校建設費)</p> <p>各種施設整備事業費(小学校建設費)</p> <p>各種施設整備事業費(中学校建設費)</p> <p>各種施設整備事業費(高等学校建設費)</p> <p>施設整備事業費(幼稚園費)</p> <p>学校施設耐震化事業費(小学校建設費)</p> <p>学校施設耐震化事業費(中学校建設費)</p> <p>学校施設耐震化事業費(幼稚園費)</p> <p>市立定時制高等学校教育の推進事業費(再掲)</p> <p>尼崎工業高等学校在校生対策事業費</p> <p>学校安全関係事業費</p> <p>学校環境衛生管理関係事業費</p> <p>学校災害見舞金</p> <p>日本スポーツ振興センター共済掛金等負担金</p>	<p>本市には、現時点で耐震基準を満たしていない学校施設が多数あり、その耐震性の確保を図ることが大きな課題となっている中で、平成24年度の学校施設耐震化事業として、17小学校・6中学校で改築・補強工事を実施した。しかしながら、平成25年4月1日現在の小学校の耐震化率は58.2%、中学校の耐震化率は63.5%と依然低い状況となっており、平成23年12月に策定した「尼崎市立学校施設耐震化推進計画(改訂版)」に基づき、児童・生徒の安全確保に向け、より一層のコスト削減に取り組みつつ、着実に耐震化を推進していくことが必要である。併せて、耐震化計画を踏まえながら実施している給食室整備事業については、平成24年度は小学校2校において調理場のドライ化整備を行うとともに、献立の多様化等の給食内容の充実を図るための備品を設置した。</p> <p>学校施設の各種施設整備については、3幼稚園・7小学校・6中学校・1高等学校で実施した。</p> <p>また、学校施設は多様な人々が利用する施設であるため、バリアフリー化を図り、安全かつ安心して利用できる施設として引き続き整備を進めていく。さらに、カメラ付インターホンや校門遠隔施錠システムの設置、安全管理員の配置、スクールガードリーダーによる学校内外の安全指導、教職員・児童に対する防犯教室等の実施により、子どもたちが学校や地域で安全・安心な環境の中で生活できるよう、地域ぐるみの学校安全体制の構築を図ることができた。</p>
			<p>子どもが安全かつ安心して学ぶことのできる教育環境を整備・充実する</p>	<p>・安全・安心な教育の場として地域住民の避難場所でもある学校施設の耐震化等に取り組むとともに、保護者や地域、関係機関と連携した子どもの安全確保を図る</p>	

まちづくり基本計画			構成する事務事業	点検・評価
施策名称	施策の展開方向	施策の展開方向に基づく取組み		
施策03【学校教育】教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち	地域全体で子どもを守り育ていくため、家庭・地域・学校の連携を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員制度や学校評価の充実とともに、学校支援ボランティアの参画等を通じて、学校と家庭、地域が連携した、信頼される開かれた学校づくりを推進する ・家庭・地域・学校の連携協力による多様な学習や体験等の機会の創出を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒文化充実支援事業費(再掲) 学習習慣支援事業費(再掲) のびよん子健全育成事業費 トライやる・ウィーク推進事業費(再掲) こころの教育推進事業費(再掲) 学校図書館運営事業費(再掲) すこやか子育て支援事業費(再掲) 	<p>地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、家庭・地域との連携を高めるため、教育啓発誌『あまっ子ぐんぐん』の配布を通して、家庭学習習慣の大切さの啓発を保護者等に対して行うとともに、地域の中で職場体験などを行うトライやる・ウィーク推進事業や中学校図書室の効果的な運営を目指した学校図書館運営事業におけるボランティアとの連携、こころの教育推進事業での保護者・地域へ向けた講演会の実施など、保護者や地域の方たちが幼児・児童・生徒の活動を支援する関わりを持つことができた。</p> <p>また、地域のボランティアを活用した教育活動の充実を図るとともに各教科研究会による児童・生徒の作品等の発表会の実施を通して、児童・生徒の創作や発表に対する意欲を高めるとともに、教員の指導技術の向上に寄与した。</p>
施策04【子ども・子育て支援】健やかに子どもが育ち、笑顔が輝くまち	子どもの主体的な学びや行動を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体的な学びや行動にとって有益な情報の収集と発信等により、子ども自らが思い・考えを表現する場などの社会参加を促す機会づくりや、子どもの自主的な企画・運営による活動を支援する 	丹波少年自然の家事務組合負担金	<p>自然と触れ合う機会の少ない本市の児童・生徒が、豊かな自然環境の中で仲間と共に野外活動を体験させることを通して、机上の勉強だけでは学べない自然の大きさや、人との交わりの大切さの理解を行っており、「生きる力」の醸成と健全な青少年の育成に寄与した。</p>
施策05【人権尊重】人権文化の息づくまち	市民・事業者と行政の協働による人権教育や啓発活動を推進するとともに、市民が人権に対して自主的に「学び・気づき・行動する」環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や教職員の人権意識の高揚と人権感覚の涵養、人権についての学習環境の整備、市民の自主活動やリーダー育成支援等に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動事業費 人権啓発リーダー育成事業費 人権・平和教育推進事業費 	<p>人権啓発資料の発行や、人権週間のつどい等の取組を通して、人権問題をより身近な問題として捉え、市民の人権意識の高揚につなげることができたとともに、人権啓発リーダーの設置・養成により、市民の人権学習の促進と充実寄与した。</p> <p>また、公民館では、人権問題・平和に対する市民意識の醸成を図るため、人権推進講座や平和パネル展示の開催など、市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、重要な役割を果たすことができた。</p>
施策17【地域の歴史】歴史遺産を守り活かすまち	文化財や歴史資料等の地域資源を保存・活用するとともに、地域の歴史や文化財に関する情報を市内外に発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の保全・調査、地域の歴史や文化財に関する調査研究・資料収集、調査研究成果の情報発信等に取り組む ・史跡・文化財や歴史資料等の各種収集資料の保存・公開、観光資源としての活用等に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護啓発事業費 歴史資料保存公開事業費 特別展事業費 兵庫県博物館協会負担金 	<p>近年、文化財保護のあり方が多様化し、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業に際しては調整が困難な事例も増加しているが、庁内各課等との連携・協力を密にすることで、適切な埋蔵文化財の保護を図っていく。同時に、文化財を市民共有の財産として活用するよう啓発事業の充実に向けた取り組みを行っている。</p> <p>また、本市教育委員会が収蔵している歴史資料等は、文化財収蔵庫や田能資料館、民間の美術倉庫で保存し、それぞれの施設や尼信博物館で展示公開を行っている。過去3年間の収蔵資料数・展示観覧者数は、ともに増加しており、歴史資料の保存・公開事業については、今後とも継続して取り組んでいく。</p>
	地域の歴史に関心を持つ市民の学習機会や場所の充実など、ともに学びあえる環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 市民が地域の歴史や文化財に触れる機会の提供(歴史講座・見学会・体験学習会の開催等)、歴史学習に関するボランティアの養成、市民グループ等との連携、市民が歴史を調べ学ぶことのできる拠点施設の整備等に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護啓発事業費(再掲) 古代のくらし体験学習会事業費 	<p>文化財収蔵庫や田能資料館における歴史講座や体験学習会の開催により、市民・児童が地域の歴史や文化財に触れる機会を提供し、多数の参加者を得ることができた。体験学習会での指導や出土遺物の洗浄・整理には、多数の市民ボランティアの協力を得ており、今後とも、ボランティアの養成を継続的に実施していく必要がある。</p> <p>また、市民が歴史を調べ学ぶことのできる拠点施設となる(仮称)歴史文化センターの具現化に向けた取組を進めていく必要がある。</p>
	住んでいる地域や尼崎市への愛着と誇りが育つよう、地域の歴史や文化財等の魅力をわかりやすくしっかりと伝えていく	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会教育施設、市民グループ等との連携による歴史・文化に触れる学習機会や場の拡充などに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資料保存公開事業費(再掲) 文化財収蔵庫維持管理事業費 特別展事業費(再掲) 施設維持管理事業費(資料館費) 	<p>文化財収蔵庫の常設展示や尼信会館での展示会において、尼崎の歴史や文化財に関する展示を行っているが、現状では展示できる資料が限定されてしまうため、展示施設の整備が必要である。また、小学校の社会科の授業や公民館講座、市民グループからの依頼による講座等への学芸員の出講も積極的に行っており、好評を博していることから、今後とも、学校や市民のニーズに応えることができるよう充実に努めていく。</p> <p>田能資料館については、展示物の適正な管理と展示内容の更新を図るとともに、来館者が安全かつ快適に施設を利用することができるよう、適切な維持管理に努めており、今後とも来館者に親しまれる場であり続けるよう努めていく。</p>
その他	教育委員会評価			<p>平成24年度は12回の定例の教育委員会議と6回の臨時会を開催し、52の議案を審議し、36の案件を協議した。</p> <p>一方、教育委員会に対する速やかな情報提供や審議に際して的確な判断ができるよう、事前に提示する項目や議案につながる重要な案件、各課の事業の進捗状況等について協議する教育委員協議会を、定例の教育委員会議の場とは別に定期的に開催(平成24年度は5回)することにより、教育委員会の議論を活性化することができた。</p> <p>併せて、体育大会や音楽会、図工展などの学校行事や耐震工事中の学校施設、学社連携の出前授業の視察をしたほか、各教科研究会の研究大会へ足を運ぶことで、学校現場の状況把握に努めた。</p> <p>また、平成23年度に引き続き、「中1ギャップ」といわれる学習や生活の変化になじめない生徒に対する小中学校間のスムーズな接続を目指すための会議を設け、学校現場の意見を聞いたり、市長との懇談を行うなど様々な連携の構築として積極的に活動し、重要な役割を担っている。</p>

※ この教育委員会評価は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づくものである。